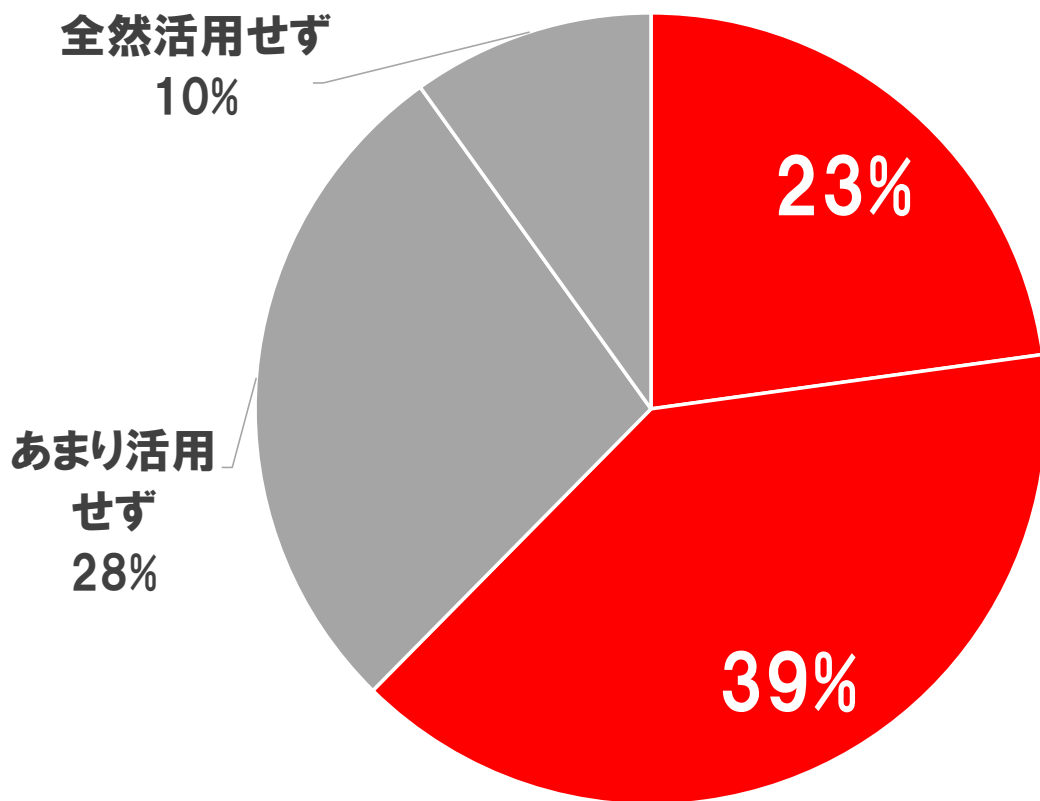


令和6年度 センター研究

**特別の教科 道徳の学習における
ICTの効果的な利活用に関する研究
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を目指した指導～**

特別の教科 道徳グループ
義務教育課
齋藤 紀行・山谷 倫規

道徳科授業におけるICT活用状況



**毎回活用する
比較的活用する**

30%(R5)

62% (R6)

調査対象:令和6年度 校内研修等講師派遣事業出席者、A38受講者 計 101名

道徳科授業におけるICT活用状況

	毎回活用	比較的活用	あまり活用せず	全然活用せず
形成期 (16人)	18.8	56.3	25.0	0
向上・発展期 (68人)	25.0	33.8	27.9	13.2
充実期 (17人)	17.6	47.1	29.4	5.9

(%)

- 道徳科授業におけるICT活用状況は、「形成期」で約75%、「向上・発展期」で約59%、「充実期」で約65%と、「形成期」が一番多く活用している。
- 毎回活用している割合は、「向上・発展期」が一番高い。
- 全然活用していない割合は、「向上・発展期」が一番高い。

「毎回活用している」教員の活用例

(アンケート結果をCopilotが要約)

導入場面での活用

- 1 デジタル教科書や場面絵、付属資料の提示
- 2 範読用の音源や動画の使用
- 3 スライドショーや二項対立の提示

意見集約と共有

- 1 フォームやスプレッドシートを使った事前アンケートや自己評価の入力
- 2 生徒の意見をその場で入力し、スクリーンに映す
- 3 ジャムボードやオクリンクを使った意見交流

振り返りと記録

- 1 ロイロノートを使ったポートフォリオの作成
- 2 自分の考えや振り返りをまとめ、意見交流につなげる

その他の活用方法

- 1 動画教材 (NHK for Schoolなど) の活用
- 2 デジタル教科書の挿絵をプロジェクターで投影
- 3 心情メーターやカードを使った意見交流

全体として、ロイロノートは多様な場面で効果的に活用されており、特に意見の集約と共有、振り返りの記録に役立っています。

「あまり活用していない」教員の活用例

(アンケート結果をCopilotが要約)

意見交流と振り返り

- 1 ロイロノートを使った意見交流や振り返りの共有が多く見られます
- 2 ジャムボードは意見交流に便利だが、代替ツールを模索中
- 3 心情メーターや心の数直線（熊本市教育センター）を使った意見交流

導入時の活用

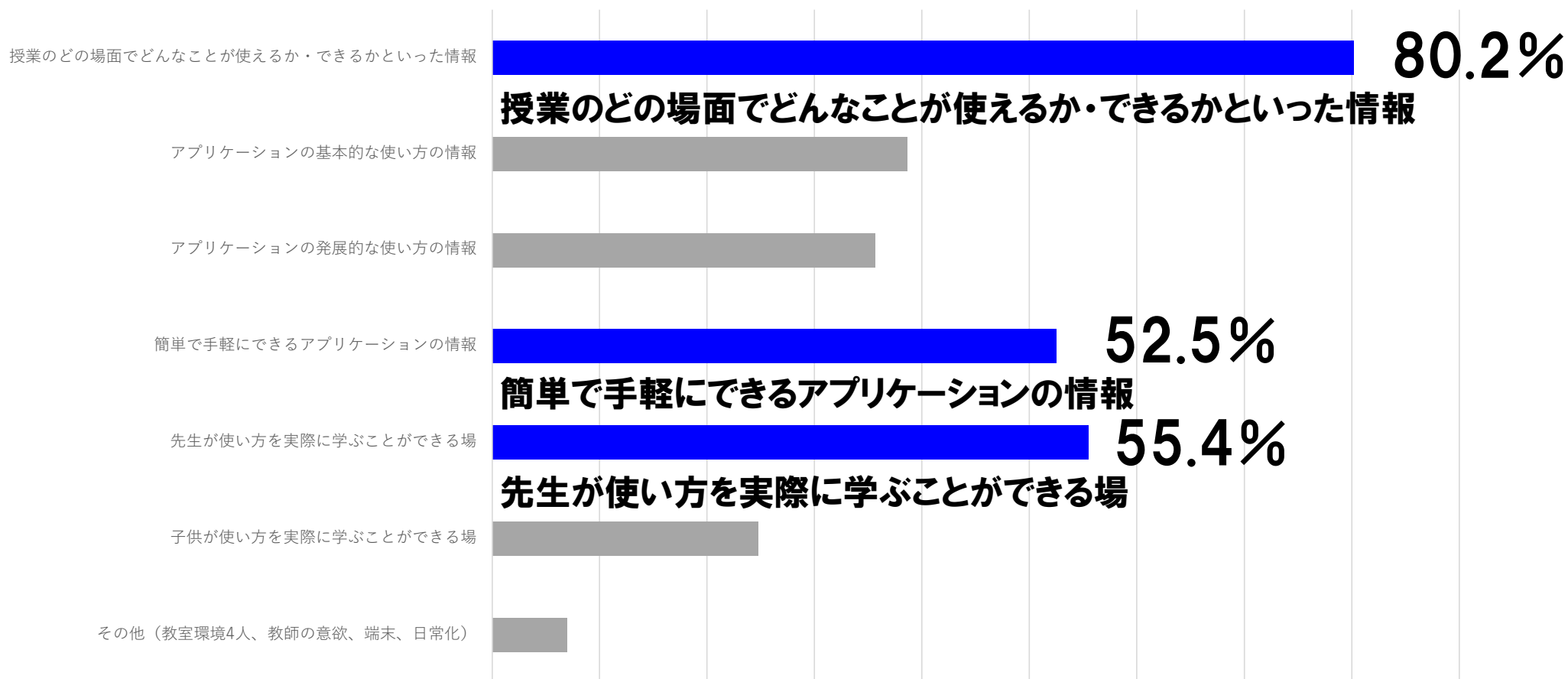
- 1 フォームによるアンケート実施
- 2 デジタル教科書の挿絵や音声、動画の提示
- 3 画像や写真の提示、YouTube動画やGoogleスライドでの発問

その他の活用方法

- 1 道徳の資料（文章や写真）の提示
- 2 映像資料（写真、動画等）の提示
- 3 miroやfigmaを使った意見交流
- 4 役割演技の撮影と共有

全体として、ロイロノートやジャムボードなどのデジタルツールを活用して、意見の集約や共有、振り返りの交流が行われています。また、デジタル教科書や映像資料の活用も多く見られます。

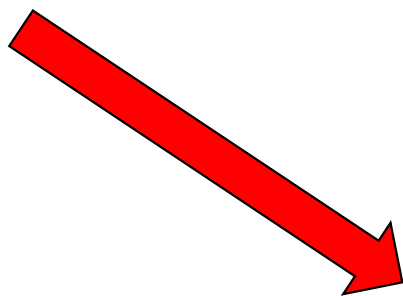
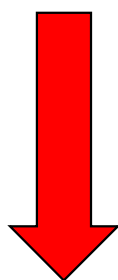
ICTを活用していくために必要なこと



調査対象:令和6年度 校内研修等講師派遣事業出席者、A38受講者 計 101名

令和の日本型学校教育

全ての子供たちの可能性を引き出し、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現



指導の個別化

学習の個性化

指導の個別化

「指導の個別化」は、一定の目標を全ての子供たちが達成することを目指し、個々の子供たちに応じて異なる方法等で学習を進めることである。その中で子供たち自身が自らの特徴やどのように学習を進めることが効果的であるかを学んでいくことなども含んでいる。

令和6年度道徳教育推進教師研修講座 講義資料(浅見哲也氏)より

「指導の個別化」とは、一定の目標を全ての子供たちが達成することを目指し、子供の特性や学習進度等に応じ、支援が必要な子供により重点的な指導を行うなど効果的な指導を行いながら、指導方法や教材等の柔軟な提供や設定をするなど一人一人が異なる方法で学習を進めること。

「道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び」(浅見哲也・安井政樹著 明治図書)より

教材提示の工夫(子供が選ぶ)



・文字

…デジタル教科書や教科書の
文字を読む

・絵

・範読

…音を聞く

他にも、

- ・教材の一部を劇化する
- ・初めから正しいことを提示する
- ・「価値の理解」について、今回は三つのうち一つに絞って指導する 等々

出典:令和6年度道徳教育推進教師研修講座 講義資料(浅見哲也氏)より

指導の
個別化

子供は道徳科をどんな風に学びたいか

- ① 友達の考えを聞くことが好き
- ② 話し合うことが楽しい
- ③ 教材のお話が好き



にもかかわらず、
これまでは…

一部の挙手できる子供の意見だけで授業が進むことが多かった

教師は、挙手している子供の考えを知ることが前提

ICTの利活用で、
一人一人(全員)のよさや可能性を引き出す

教師主導？

挙手が苦手
な子供も表
現できる

学習の個性化

「学習の個性化」は、個々の子供たちの興味や関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げることを意味している。その中で子供たち自身が自らどのような方向性で学習を進めていったらよいかを考えていくことなども含むものである。

令和6年度道徳教育推進教師研修講座 講義資料(浅見哲也氏)より

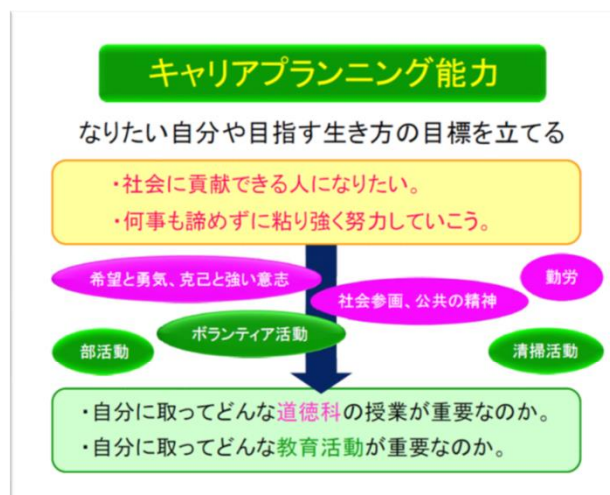
「学習の個性化」とは、子供の興味や関心等により一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が自分に適した学習の目標等を設定することです。

「道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び」(浅見哲也・安井政樹著 明治図書)より

道徳教育で考える

学習の
個性化

- 1 子供に内容項目一覧を渡して、いろいろな場面で、選ばせる
- 2 特別活動 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」
と関連付ける
- 3 授業で生かすとしたら…
 - ・重点内容項目数と時数
との比較→余った時間を
有効に活用する
 - ・自分はこの価値を大事にして
考える(各自が決めて考える)



重点内容項目数		
小 [第1学年]	19	→ 15
[第2学年]	19	→ 16
[第3学年及び第4学年]	20	→ 15
[第5学年及び第6学年]	22	→ 13
中 [中学校]	22	→ 13

出典:「令和6年度道徳教育推進教師研修講座講義資料(浅見哲也氏)」より

協働的な学び

「協働的な学び」とは、探求的な学習や体験活動等を通じ、子供同士、あるいは、多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成するための学び。

「道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び」（浅見哲也・安井政樹著 明治図書）より

自己を見つめるレーダーチャート(内容項目の一覧化)

場面

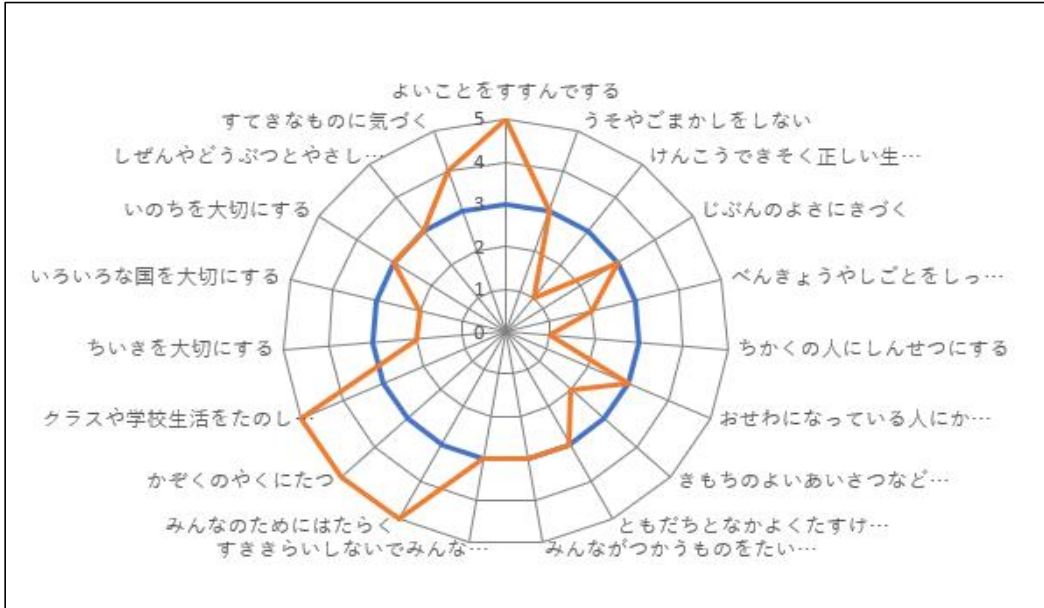
授業前・後の振り返り(主に、「導入」「終末」)

ツール

Microsoft Excel(表計算ソフト)

じぶんのころこ (1、2学年)

1 よいことを すすんでする	2 うそやごまかし をしない	3 けんこうで きそく正しい生 活をする	4 自分のよさに きづく	5 べんきょうやし ごとをしっかり する	6 ちかくにいる人 にしんせつにす る
7 おせわになっ ている人にかん しゃする	8 きもちよいあい さつをし明る くす	9 ともだちとなか よくたすけあう	10 みんながつかう ものを大切にす る	11 すききらいしな いでみんなとお 話する	12 みんなのため にはたらく
13 かぞくの やくにたつ	14 クラスや学校生 活をたのしくす る	15 ちいきを 大切にす	16 いろいろな国を 大切にす	17 いのちを 大切にす	18 しぜんやどうぶ つとやさしくふ れあう
19 すてきなもの に 気づく					



各学年の内容項目を要約したものを配付し、いろいろな場面で意識させる。
Microsoft Excelで自己評価(5段階評定)し、その結果をレーダーチャートで示す。14

よ さ

- 「じぶんのこころ」で、日常生活でも道徳的価値を意識することができる。(例)「運動会、私は5、7、8を意識して取り組もう」
- 授業では、「じぶんのこころ」を子供自らが選択して考えたり、関連させて考えたりすることができる。
- 「レーダーチャート」で自分自身を見つめ、自分の状況を把握することができる。→課題は日常生活と結びつけて考えさせる。

留意点

- 「じぶんのこころ」は、内容項目を基に、学年の実態に合わせて文言を作成したが、汎用性に欠ける部分もある。
- 「じぶんのこころ」と「レーダーチャート」の文言を同じにすることで、相関的に考えさせていく。

Padletで意見交流する

場面

意見交流場面(主に「展開」)

ツール

Padlet

最近の「思いやり」体験

「思いやり」体験をしたときの気持ち

困った人だけに「思いやり」はするもの？

お母さんに...
肩がこるから肩を揉んでといわれ、肩を揉んであげた。

教室のゴミ拾い
教室に落ちているゴミを拾いました。これが思いやりかは分かりませんが。

低学年の子に
1年生に図書室の行き方を教えてあげました。

登校時に
歩道を友達とおしゃべりしながら歩いて学校にきたけど、前から知らない人が来たので、おしゃべりを止めて、道を譲ったよ。

悪くはない

良い気持ち

またしたくなった

せっかくなのに
相手からは感謝されることもなく、なんだか残念な気持ちになったよ。

困っていない人にもしたいけど
困っていないのなら、しなくてもいいかな。
大きなお世話、お節介とも言われそう。

教師の発問に、子供たちはそれぞれ自分の意見を書いていく

齋藤紀行・6日

困っていない人には親切はしなくてもよいか

下のプラスボタンをクリックして、ディスカッショントピックへの回答を投稿してください。

そもそも、困っている人かどうか分からない場合が多い気がする。

困っていない人にはしなくても良いと思う。大きなお世話、お節介だと思える。

でも、この前お母さんが、「あれこれ考える前に、お節介だと思われても、自分は親切をする」といっていたよ。

お節介と思われるのは嫌だなあ

ディスカッションのテーマに子供たちは意見を書く。その意見にコメントや♡で反応する。

齋藤紀行・6日

思いやりとは？

たろう

じろう

しろ

さぶろう

思い遣るで思いやり
思うことが大事だと思う。困っている人を見て、困っていると感じる。それが思いやり。だから多くはいろいろな人のことをよく見ようと思う。

まずはお年寄り
まずはお年寄りでも... だって、あまりいろいろな人に声をかけられないから。

身近な人へ
困っている人の立場で声をかけたり、親切をしたりすること。でも、誰に対してもはできないな。とりあえず、身近な人から始めたい。

断ることも思いやり？
テストの時間に答えを教えてといわれたら、僕なら断るな。その人のためにならないから、これも思いやり？

お年寄りに席を譲ること
困っている人に親切にしてあげること。それはすなわち、お年寄りに席を譲ることだ。困っている人には進んで声をかけたよ。

お年寄り限定でいいですか？
困っている人だから、お年寄りに限定するのはどうかな？

子供たちは自分の意見を追加していく

「Padlet」で自分の意見を出させる。友達の見聞も参考にしながら、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えさせる。

よさ

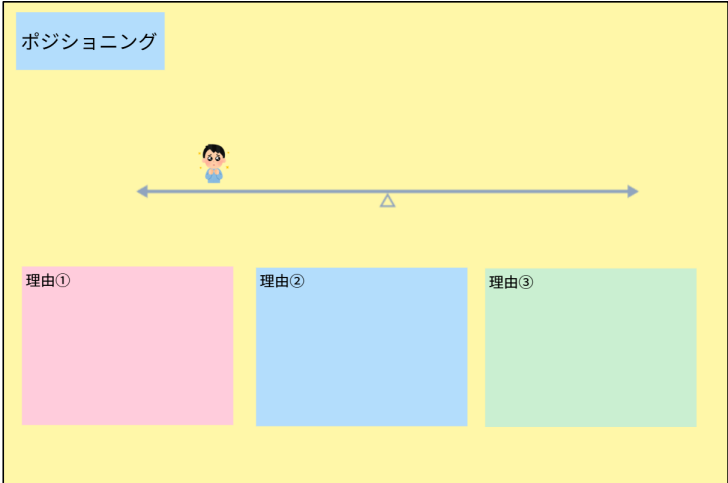
- 挙手が苦手な子供も含め、全員が授業に参加できる。
- 友達の意見を参考にし、自分の意見に役立てることもできる。
- 記録を残すことで、変容を見取ることもできる。
- 書くことが苦手な子供も、♡を押すことで反応を示すことができる。
- 教師は意図的に指名することも容易になる。

留意点

- 教師のねらいに応じてテンプレートの示し方を変える必要がある。
- 操作に慣れるまで、多少時間がかかる。

他ツール

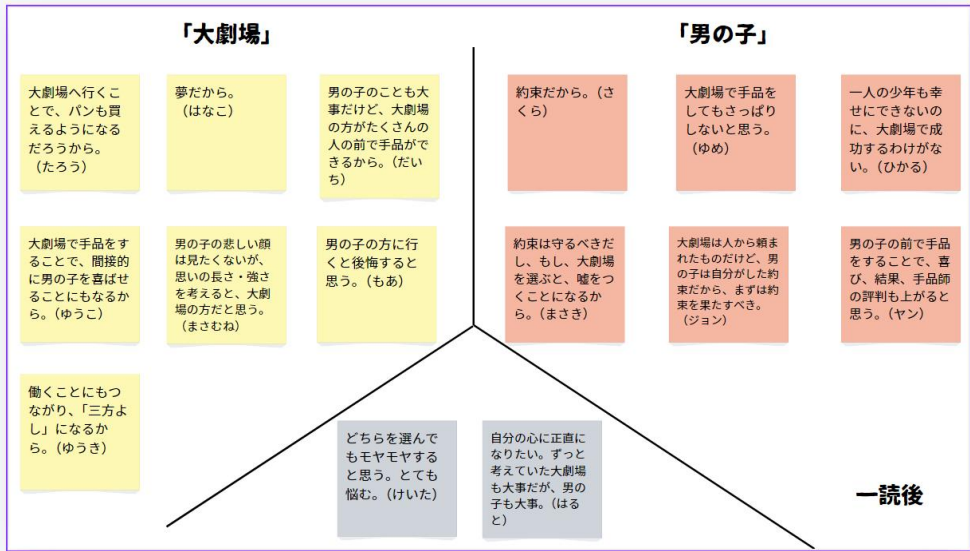
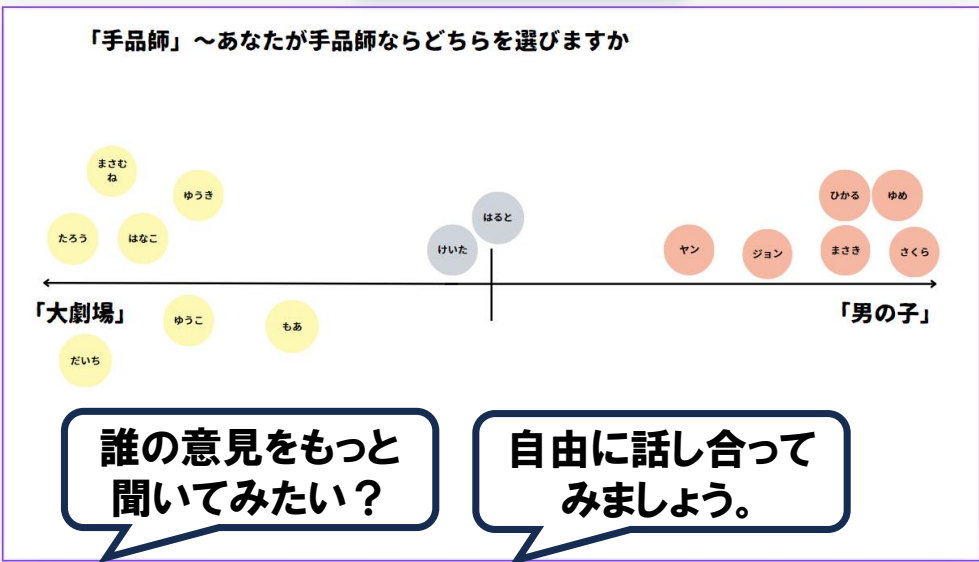
ロイロノート・スクール、Canvaでポジショニング



よさ

留意点

- ・二項対立の発問に対して、全員の意見を可視化するだけでなく、変容を見取することもできる。
- ・ロイロノート・スクール(左図)は、「カード提出」で全員の回答を提示。Canva(下図)は、共有することで、全員の位置を把握することができる。



Canvaで学びの整理をする

場面

学びの整理場面(主に「終末」)

ツール

Canva



本時の始めと終わり考えを並べて記入する。

「Canva」で本時の内容を踏まえて自己を振り返ったことをまとめる。
画面上で友達の意見を共有することでさらに考えを深めさせる。

よさ

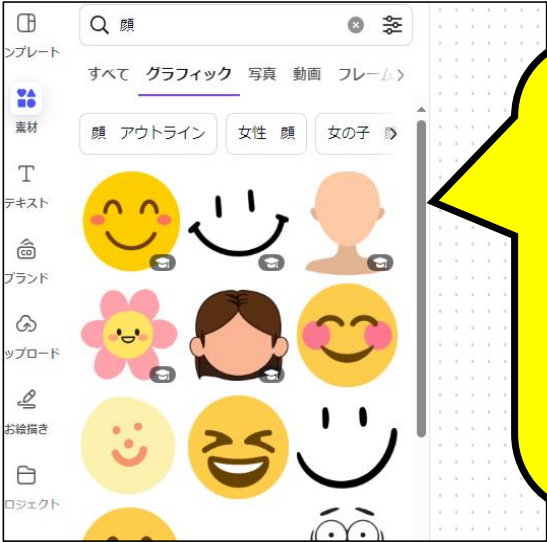
- 振り返りを共有する時間を確保することができる。また、友達同士で共有することで、多様な考えに触れることができる。
- 授業の始めと終わりで考えを比較することで、自己の考えの変容に気付くことができる。
- データを複製することで、繰り返し使用することができる。

留意点

- 振り返りを見られることによる心的な圧迫感があるため、どんなことを話しても大丈夫な雰囲気づくりが必要である。

他にも…

Canvaで学びの整理をする



豊富な「テンプレート」(左)
→ 子供に選ばせても良い
豊富な「素材」(右)
→ 今の自分にあつた表情を
選ばせ、簡単に振り返りを
書かせることも考えられる

ちらし、名刺、新聞、マインドマップ…豊富なテンプレート(意図に応じて使用する)

よさ

- 素材等を効果的に使用することで、直感的に表現することが可能。
- 主体的に表現することができる。
(授業後の振り返りにも活用可能)

留意点

- 操作に慣れも必要。
- 教師は、子供が作業しているところを把握することができない。
- 表現に目が行き、こだわりすぎることもある。 21

まとめにかえて

今後の充実に向けた国の取組

- 道徳教育の充実
- よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進
- 道徳教育アーカイブ
- NITSの研修教材

スタディーエックス スタイル
StuDX Style
GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

道徳教育アーカイブ

NITSのオンライン講座

NITS 校内研修シリーズ

全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、校外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、「校内研修シリーズ」を始め、講義動画などの研修教材を提供しています。
「校内研修シリーズ」では、これまでに、本編93本、新学習指導要領編59本の計152本を配信しています。ぜひ積極的にご活用ください。

道徳科に求められる評価：校内研修シリーズ No46

高等学校における道徳教育の充実に向けて：校内研修シリーズ No 81

- ICTの利活用は、授業の質的転換を図ることに役立つ
- 国の取組も参考にし、ICTを効果的に利活用することで、子供たちの道徳性を養っていく